第6回 関西物流展

タイヤ関連ブース

BTSJ、ヨロズ物流など

輸送事業者向けの商品・サービスが一堂に集まる「第6回 関西物流展」が9日～11日、インテックス大阪（大阪市）にて開催された。今回は過去最大規模となる405社が出展し、来場者数は3日間合計で2万4785名に達した。ここではタイヤに関連したブースを紹介する。

丹保課長代理

【BTSJ】

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン（BTSJ）は、タイヤ関連業務をカスタマイズして依頼することができるトータルパッケージプラン（TPP）の中から、TPMSサービス「Tirematics」を紹介。TPPは現在、全国で約10万台が契約しているという。

同社・丹保建哉TB・LTソリューション事業推進部課長代理（写真）は『重量物・危険物を輸送する運送会社様やトレーラー火災を未然に防ぎたいというお客様を中心に需要が高まっている』と話した。

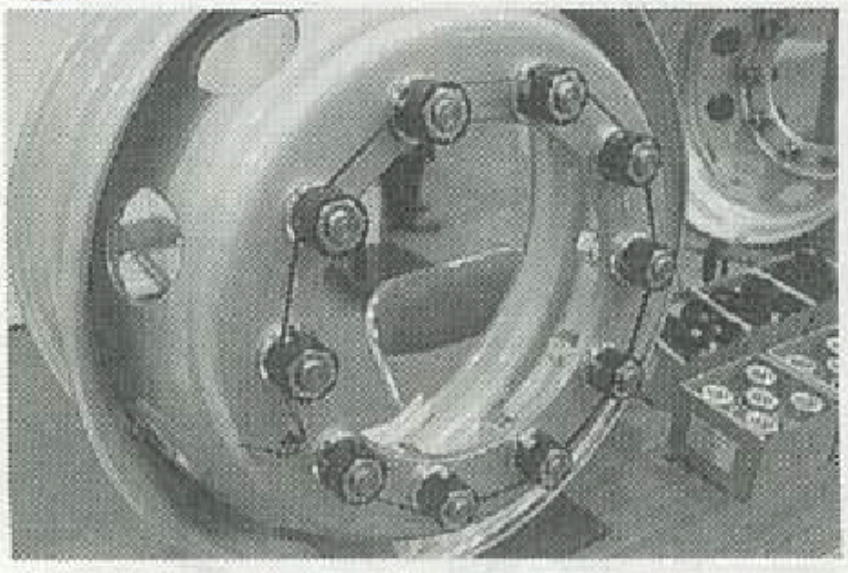
チャオヤンタイヤ

【ヨロズ物流】

中国・ZCラバーの「チャオヤンタイヤ」国内総代理店を務めるヨロズ物流。ブース担当者の田中大輔氏は『今年は国内メーカーが値上げを発表した中で、我々にとっては追い風であると感じている。チャオヤンタイヤは本当たりの減効果がある。大型トラック1台で12本のタイヤがあるので、50台所有していただければ1本当たり1万円の削減効果があれば600万円の削減効果が見込める』とコストメリットを強調した。今冬はスタッドレスの新作「ZS785」を投入し、性能面でもお客様の評判は上々だという。

【タイヤーサービスセンター】

大阪市のタイヤ専業店であるタイヤーサービスセンターは、車輪脱落事故を未然に防ぐ「TBナットロックシステム」を展示した。



TBナットロックシステム